

目 次

I. 総括報告書	1
小児期に発症する遺伝性腫瘍に対するがんゲノム医療体制実装のための研究	3
熊本忠史	
(資料)	
1) ポスター：遺伝性腫瘍セミナー、東京、令和元年6月13日	7
II. 分担研究報告書	9
1. 小児に遺伝学的検査を実施する際の小児およびその家族に対する遺伝カウンセリングを横断的に扱ったガイドラインの整備に関する研究	11
田村智英子	
(資料)	
資料1. リー・フラウメニ症候群の遺伝カウンセリング	13
資料2. リー・フラウメニ症候群の遺伝カウンセリングの手引き	35
2. 小児遺伝性腫瘍のサーベイランスに関する支援体制整備のためのガイドライン作成方法の検討	47
濱島ちさと	
(資料)	
資料3. リー・フラウメニ症候群サーベイランスのためのエビデンス・レポート	53
3. Li-Fraumeni 症候群診療ガイドラインの作成	227
熊本忠史	
(資料)	
資料4. リー・フラウメニ症候群診療ガイドライン	231
4. 各遺伝性腫瘍のレビューワーク	261
熊本忠史	
(資料)	

資料 5. 小児期に発症する遺伝性腫瘍診療ガイドンス	265
5. 小児遺伝性腫瘍診療に関する実態調査	325
中野嘉子	
(資料) なし	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	329